

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.74

発行 2020年5月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

この窮地の中を自分ならでは

四月初旬、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、緊急事態宣言が発令されました。それを受けて、わかごぼうも居場所活動についてどうするのか協議した結果、緊急事態宣言が解除されるまで閉めることになりました。普段から出勤する前や仕事終わりに息抜きのように利用される方にとって居場所の存在は大きく、この事態に皆さん思うことも多々あるのではないかと思います、今の自分の思いを存分に綴っていただきました。

当時、求職活動中だった私は二月に予定されていた合同面接会が中止になったことで新型コロナウイルスの影響をいち早く実感することになりました。その面接に向けて取り組んでいた努力やら準備やらを發揮する場がなくなってしまう、タイミングの悪さに精神的ショックがとて大きかったのではばらく落ち込んでしまいました。

勿論、その時点で既に感染拡大が頻りに話題になっていたの、仕方のないことだと頭では理解していましたが、心の方はそうはいきません。更に、それ以降の行事も延期からの中止になったりと悪い方向にいくものですから、その時の感情は例えようがなく、心ばかり穴が空いたようでした。

遂には緊急事態宣言の報があり、五月以降もどうなるかと不安が肥大していきましました。今後の就職活動の難しさが上がってしまうことも予想されるからです。

ここまで、不安ばかり綴ってきましたが、私はその中でも辛いこと、本音を言える人が大勢いることが、とても有難いことだと感じています。辛いことを聞いてもらえるだけで楽になる事もあるからです。今後のことを思うとしんどくなったり、辛くなることもあると思いますが、私は頼れる人に頼ったり、使える制度を使ったりしてこの難局を乗り越えていこうと思います。



思いの丈を暴露チユー

わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのお話を学べるから。

完全防備の上で伐採を

緊急事態宣言の為、自粛中のわかごぼうですが、どうしてもしておかなくてはいけないことがあります。それは、サトウキビの伐採です。サトウキビは過去に育てた作物なのですが、枯れた際に土に埋めて処理しました。ですが、それが間違いで再び生えてきてしまったのです。

近々、畑には工事が入る予定になっており、それまでにサトウキビを伐採しておかなければならないのです。とはいえ、このご時世です。しっかりと「三密」ルールを守り、マスク着用は絶対です。



時短!時短!

エチケットは大事。

☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方もご相談いただけます。(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。そんなあなたに答えるための社会的居場所です。

八尾市社会的居場所事業

わかごぼうに 来ませんか?

自分のペースで参加できます。

お問い合わせ & 参加申込み
電話：072-992-6921

✉ : wakagobou@yaops.jp

電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月~金)

開催時間：毎週木曜日14:00-16:00

開催場所：わかごぼう

八尾市南本町7-6-23

※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨



わかごぼう

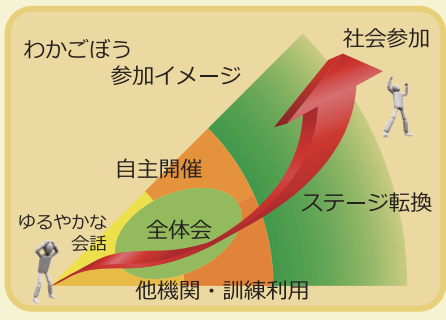
選択肢のある自由の幸せ

わかごぼうは、「この数年私にとって、唯一気軽に行ける場所だったんだと思います。そう思ったきっかけは、この事態を受けての居場所の一時休止です。私は今、仕事と買い物以外はほとんど外出しないです。仕事帰りに、わかごぼうの前を通っても、休止中の為、入ることもできない。行けそうなのに、決しても切ない気持ちになります。こんな事態になる前は、仕事終わりで疲れていたり、中人数が多いと「まあ…今日はいいかな。」とそのまま寄らずに帰ることもありまして。けれど、今のことを思えば、それは『行かない自由の幸せ』だったんだと思います。『行かない』と『行けない』文字に起こすとたった一文字の違いなのに、気持ち的には大きく違います。居場所は、誰かと繋がっていると肌で感じられる部分もあつたからなのかもしれない。だから、それを出来ない今、殊更にさみしく感じるのかもしれない。五月以降もどうなるかわからないままで、この寂しくて切ない感情を持て余したまま、どのくらいの時間を過ごさないといけないのかと考えると、ちょっと怖いです。そこまでは感じる程に、私にとって「居場所」というのはとても素敵で重要なものだったと思います。一日でも早く、皆が自分の「居場所」に戻れます様に願っています。

八尾市社会的居場所事業

「わかごぼう」について

スモールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



案外、見つけられるもの

不要不急の外出自粛が叫ばれ、自由にできることも少ない中で休日の過ごし方は、どういったものになっているのかとためてみました。過ごし方にそれぞれ個性が出ていますね。

〇コロナウイルスの影響で、自分の趣味である野球観戦も開幕が延期になり、同じ趣味の友人とも自由に会って話すこともできずにいて、窮屈な思いをしている中、同じ趣味の友人さんからアプリを紹介してもらいました。そのアプリを利用して、友人さんたちと時間が合うときや休日に、オンラインで飲み会をしたりしています。このアプリの面白いところは、写真も載せられるところで、それを利用してお互いの作った料理を、見せ合ったりして楽しんでいます。ビデオ電話では、出来ないこともできて新鮮で、こういう飲み会もありかなと思いました。それに、人に見せると考えると、疲れていても頑張った料理を作ろうと思えます！

〇僕は、元タインドア派で家にいること自体を苦にしないタイプだったので、この事態を受けての外出自粛も、そんなにストレスもなく過ごしています。たまたまと感じたとしても、家の中で解消することもできるの、ある意味、不自由を感じる部分が人より少ないのかかと感じています。

〇私は、この事態を好機とみて普段、面倒くさくて後回しにしていた部屋の整理などをしていました。本の山が多すぎて整理するだけで、いつの間にか一日の半分を使っていたりと、日ごろの怠慢が浮き彫りになって反省する面も見えました。やり始めてみると案外楽しくて、こうしたら出し入れがしやすいかなとか考えながら、整理されてすっきりしてみると中々の達成感でした。家にこもるストレス等がニューズで取り上げられていますが、普段しないことをして自分なりに楽しみを見つけて、身の回りをちょっと変えていくだけで少し気分が上がるものだなと思いました。でも、空いたスペースはすぐに新しい本で埋まるだろうから、整理からは逃れられそうにないです。

耐えた先に見えるものは…

今は、グツと堪える時期ですが、いつまでもそうではありません。何事も、終わりは必ず来るものです。働き始めた矢先、事態は大きく動き、自粛ムードに。辛い、仕事は三密を守った上での業務となり、忙しいことを想定していた僕としては、仕事に慣れるのに時間が掛かると思いつつ、体力、精神面では助かった部分がありました。

世の中ではテレワークや、リモートワーク等の非接触型の働き方を実施していく事業所も増えてきました。この働き方は僕個人の考えでは、新型コロナ禍が収束した後も一つの働き方として定着していくのではないかと考えていて、働き方の転換期になるのではないかなと思っています。勿論、今後の新型コロナウィルスの脅威に対する不安は尽きません。

ですが、今回の緊急事態宣言や不要不急の外出自粛が、どのようにこれからの働き方やライフスタイルに影響するのかと先を想像しつつ、今を乗り越えていこうと思います。

これからのわかごぼう

わかごぼう

五月末まで延期となった緊急事態宣言。六月からのわかごぼう活動再開に向けて企画案だけは進めています。来月は外出自粛で滞っているであろう夏の準備を整えに商業施設を見に行く企画や、延期されていたロープワーク学習を予定しています。もちろん、テーマトークやボランティア活動もありますよ。みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。八尾市社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。